

高さ約30mに及ぶ大規模な切土工事により安全な通行を確保 交通安全と活性化に寄与

— 県道下檜沢上小瀬線の一部開通(常陸大宮市上小瀬) —

〈事業概要〉

事業年度 平成13年度～

総事業費 44億円

事業延長 L=3.7km

標準幅員 11m/6m(片側歩道)

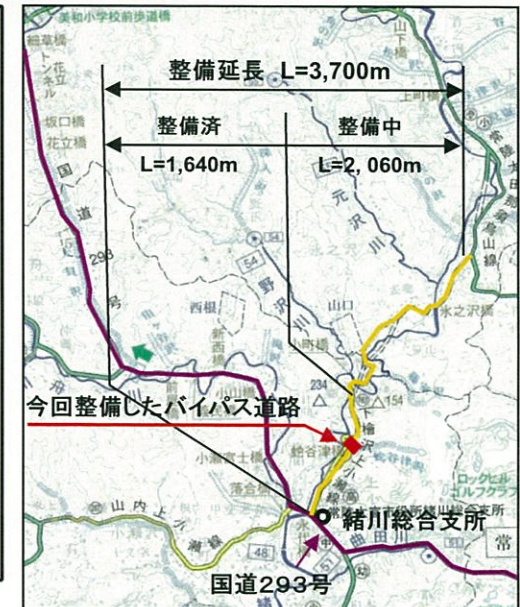
事業箇所 常陸大宮市下檜沢～上小瀬

【課題】

● 下檜沢上小瀬線は、常陸大宮市の緒川地区と美和地区を結ぶ重要な生活道路ですが、上小瀬地区の360m区間は急カーブで見通しが悪い上、幅員が3mと大変狭く、車両のすれ違いができませんでした。

【整備効果】

● 現道360mを2車線で見通しの良い160mの直線道路に整備することにより、車両の安全な通行が確保でき、生活道路の安全性を大幅に向上しました。



狭隘で屈曲している
現況道路



硬い岩石の山を
掘削する難工事



見通しの良い安全な道路に！